



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月6日

上場会社名 株式会社アイル

上場取引所 東

コード番号 3854 URL <https://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 2020年4月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	6,957	47.0	1,226	230.1	1,232	223.7	809	229.2
2019年7月期第2四半期	4,732	9.1	371	69.7	380	67.0	246	73.5

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 810百万円 (211.4%) 2019年7月期第2四半期 260百万円 (69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	32.37	—
2019年7月期第2四半期	9.82	—

(注) 1 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第2四半期	7,187	3,394	47.2
2019年7月期	6,646	2,851	42.9

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 3,394百万円 2019年7月期 2,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2020年7月期	—	7.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年7月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,342	17.3	1,519	59.7	1,536	57.9	1,008	62.4	40.28

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	25,042,528株	2019年7月期	25,042,528株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	70,094株	2019年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	25,022,651株	2019年7月期2Q	25,042,539株

(注) 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年8月1日～2020年1月31日)におけるわが国経済は、世界各地の通商問題に関する動向による世界経済に影響を与える可能性や、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響、国内経済においては、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向等に留意が必要ではあるが、雇用、所得環境の改善も続いており、緩やかではありますが回復基調は続いておりまゝです。当社グループが属する情報サービス業界においても、企業業績の改善傾向もあり、ソフトウェアに対する投資は増加していくものと期待されます。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナーを開催し、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、受注実績も順調に推移いたしました。収益面につきましては、2019年10月に実施された消費税率の改定や2020年1月のWindows 7のサポート終了等もあり、受注は大幅に増加しており、前四半期から継続して売上高、利益共に大幅に増加いたしました。

「Web」面では、複数ネットショッパー一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を当四半期も継続して取り組んでまいりました。今後も引き続き、複数モールとの連携機能強化を行うとともに、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしてまいります。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」につきましても、販売実績を伸ばしております。

当四半期連結累計期間においても、継続して製品の開発に注力しており、将来における新たな技術開発による市場競争力向上に向け、研究開発費20,899千円を計上しております。島根県松江市の研究開発拠点である「アイル松江ラボ」においては、プログラミング言語「Ruby」によるシステム強化の活動を本格的に始動しており、今後も研究開発人員を増加し、研究開発活動の強化を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高6,957,780千円(前年同期比47.0%増)、営業利益1,226,182千円(前年同期比230.1%増)、経常利益1,232,422千円(前年同期比223.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益809,971千円(前年同期比229.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて541,116千円増加し、7,187,497千円となりました。これは主に、仕掛品100,588千円、ソフトウェア仮勘定232,552千円等が減少した一方、現金及び預金618,837千円、ソフトウェア292,154千円等が増加したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて1,528千円減少し、3,793,255千円となりました。これは主に、未払法人税等118,781千円等が増加した一方、長期借入金106,670千円等が減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて542,644千円増加し、3,394,241千円となりました。これは主に、自己株式の取得142,880千円、剰余金の配当125,212千円等による減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益809,971千円等による増加があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年12月6日に公表しました「第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,953	1,975,791
受取手形及び売掛金	1,400,546	1,352,719
商品	412,280	329,937
仕掛品	1,173,927	1,073,339
その他	68,133	66,105
貸倒引当金	△2,068	△1,782
流動資産合計	4,409,773	4,796,110
固定資産		
有形固定資産	387,819	390,091
無形固定資産		
ソフトウェア	247,056	539,210
ソフトウェア仮勘定	663,554	431,002
その他	1,739	1,739
無形固定資産合計	912,350	971,952
投資その他の資産		
繰延税金資産	361,179	362,389
その他	576,766	669,317
貸倒引当金	△1,507	△2,364
投資その他の資産合計	936,437	1,029,343
固定資産合計	2,236,607	2,391,386
資産合計	6,646,381	7,187,497
負債の部		
流動負債		
買掛金	510,571	453,140
1年内返済予定の長期借入金	220,008	216,674
未払法人税等	346,732	465,513
賞与引当金	44,800	70,200
製品保証引当金	30,830	25,491
その他	1,182,452	1,136,316
流動負債合計	2,335,395	2,367,335
固定負債		
長期借入金	191,632	84,962
退職給付に係る負債	905,356	949,407
役員退職慰労引当金	254,368	282,939
資産除去債務	108,032	108,611
固定負債合計	1,459,389	1,425,920
負債合計	3,794,784	3,793,255

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,673	354,673
資本剰余金	319,673	319,673
利益剰余金	2,176,379	2,861,138
自己株式	—	△142,880
株主資本合計	2,850,727	3,392,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,354	321
退職給付に係る調整累計額	4,223	1,314
その他の包括利益累計額合計	869	1,635
純資産合計	2,851,596	3,394,241
負債純資産合計	6,646,381	7,187,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
売上高	4,732,541	6,957,780
売上原価	2,723,905	3,821,047
売上総利益	2,008,635	3,136,732
販売費及び一般管理費	1,637,215	1,910,550
営業利益	371,419	1,226,182
営業外収益		
受取手数料	5,934	6,464
違約金収入	3,915	18
補助金収入	627	1,519
その他	740	1,085
営業外収益合計	11,217	9,086
営業外費用		
支払利息	1,867	1,362
支払手数料	—	1,484
営業外費用合計	1,867	2,846
経常利益	380,769	1,232,422
特別利益		
固定資産売却益	805	—
特別利益合計	805	—
特別損失		
固定資産除却損	0	872
投資有価証券売却損	—	317
特別損失合計	0	1,189
税金等調整前四半期純利益	381,574	1,231,232
法人税、住民税及び事業税	149,934	421,330
法人税等調整額	△14,372	△69
法人税等合計	135,561	421,260
四半期純利益	246,013	809,971
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,013	809,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	246,013	809,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,316	3,675
退職給付に係る調整額	15,680	△2,909
その他の包括利益合計	14,363	766
四半期包括利益	260,377	810,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,377	810,738
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月6日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式70,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が142,800千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が142,880千円となっております。